

令和6年度東京都自立支援協議会活動状況

第8期 東京都自立支援協議会委員名簿（令和6年度）

令和6年6月10日現在

番号	役職	名前	所属	番号	役職	名前	所属
1	副会長	秋元 妙美	CILちょうふ 代表	11		仲田 素直	社会福祉法人東京緑新会 地域生活相談室 おあしす
2		荒木 浩	社会福祉法人多摩棕櫚亭協会 障害者就業・生活支援センター オープナー 施設長	12		中山 佳子	障害者施策推進部 地域生活支援課長
3	会長	岩本 操	武蔵野大学人間科学部人間科学科 教授	13		西田 伸一	公益社団法人東京都医師会 理事
4		神作 彩子	大田区立障がい者総合サポート センター相談支援事業所管理者	14		根間 あさ子	認定特定非営利活動法人 多摩草むらの会 パソコンサロン夢像 生活支援員
5		北川 多恵子	世田谷区北沢総合支所 保健福祉センター健康づくり課 保健相談係長	15		藤井 亘	特定非営利活動法人クローバー 事務局長
6		久保 玄	社会福祉法人原町成年寮 サザンクロスかつしか 所長	16		宮崎 修一	北区福祉部障害者福祉センター所長
7		小阪 和誠	一般社団法人ソラティオ ピアサポート専門員	17		向山 昇剛	府中市福祉保健部障害者福祉課長
8		後藤 憲治	大田区福祉部調布地域福祉課 身体障害者支援担当	18		村中 友江	社会福祉法人原町成年寮 生活介護事業所 アンジュ
9	副会長	曾根 直樹	日本社会事業大学 福祉マネジメント研究科 教授	19	副会長	森山 瑞江	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 副理事長
10		高橋 薫	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 豊島区立目白福祉作業所	20		龍 佑企子	中央区福祉保健部障害者福祉課 相談支援係長

※五十音順

活動のまとめ

【第8期テーマ(令和5・6年度)】

協議会において合理的配慮による当事者の主体的な参画を推進するとともに、地域課題への取組過程の共有により、地域協議会活動の活性化を図る

令和6年度活動方針（案）：障害当事者からみた地域移行・地域生活支援の課題を共有する

第1回本会議 6月10日（月）13時15分から16時00分まで

<報告事項>

○「令和5年度版 東京都内の自立支援協議会の動向」調査結果について

<協議事項>

- (1) 令和6年度東京都自立支援協議会の活動方針（案）等について
- (2) 自立支援協議会担当者連絡会の活用について
- (3) 令和6年度地域自立支援協議会交流会の企画について

第2回本会議 2月14日（金）13時30分から16時30分まで

<報告事項>

○令和6年度東京都自立支援協議会活動報告

- (1) 令和6年度地域自立支援協議会交流会の開催報告
 - (2) 令和6年度東京都自立支援協議会セミナーの開催報告
 - (3) 自立支援協議会担当者連絡会の開催報告
 - (4) 令和6年度版東京都内の自立支援協議会の動向（動向集）の報告
- 東京都からの報告
- (1) 令和6年度厚生労働省障害者地域生活支援体制整備事業「全国ブロック会議」の報告
 - (2) 令和6年度東京都障害者総合支援法等関連研修に関する検討報告

<協議事項>

○グループ討議の進行について

グループ討議、全体報告、第8期総括・メッセージ

当事者参画推進グループ ・ 協議会活性化グループ

地域協議会の情報把握・共有

地域自立支援協議会交流会

日時：8月26日（月）13時から16時30分
会場：東京都社会福祉保健医療研修
センター

参加者：104名（16区14市）

内容

- (1) 話題提起・トークセッション
東京都自立支援協議会
- (2) グループ討議
14グループに分かれて意見交換。
うち障害当事者グループ3、家族グループ1を編成
- (3) 全体会
討議結果の内容をまとめ、今後の
取組についてグループごとに発表

自立支援協議会担当者連絡会

第1回

日時：7月9日（火）
13時30分から15時まで

内容

- ・報告（東京都、三宅村）
- ・東京都自立支援協議会委員が選ぶ、話を聞いてみたい取組（板橋区、品川区、西東京市、文京区）

第2回

日時：10月7日（月）
13時30分から15時まで

内容

- ・報告（東京都）
- ・東京都自立支援協議会委員が選ぶ、話を聞いてみたい取組（江東区、東村山市）

東京の協議会活動の普及啓発

東京都自立支援協議会セミナー

日時：12月9日（月）13時20分から
16時10分まで
会場：東京都庁第一本庁舎 5階大
会議場

参加者：会場参加154名、動画視聴312
名（申込者数）

○基調講演

社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会
杉並障害者自立生活支援センターすだち
相談員 佐藤弘美 氏

○パネルディスカッション

障害当事者・支援者による発表
・当事者（精神障害） 佐野文宣氏
・当事者（身体障害） 矢島貞光氏
・支援者 仲田素直氏
・支援者 蛭川涼子氏

○メッセージ

東京都自立支援協議会会長 岩本 操氏

地域協議会の情報共有・発信

東京都内の自立支援協議会の動向 編集方針

- (1) 継続して行っている設問項目については、同様のかたちで引き続き行っていくが、都協議会や交流会等での討議結果を参考にしながら作成している設問については、グループ討議により、今年度の活動方針に沿った設問を設ける。
- (2) 当事者参画を問う設問と協議会活性化を問う設問について、ブラッシュアップを進める。
- (3) 担当者連絡会や交流会、セミナーなどで取り上げた「地域自立支援協議会における先進事例」や「障害当事者の発表要旨」をコラムとして掲載する。
- (4) 会長による第8期の総括を掲載する。

地域自立支援協議会交流会の開催報告

1 目 的

- 都内の地域自立支援協議会関係者の交流の場を設定し、活動状況等に関する情報交換を実施することにより、各地域自立支援協議会の円滑な運営や活動の活性化を図る。
- 東京都自立支援協議会として、都内の地域自立支援協議会の活動状況等を把握する。

2 日 時

令和6年8月26日（月曜日） 午後1時から午後4時30分まで

3 開催場所

東京都社会福祉保健医療研修センター

4 参加者

- (1) 区市町村からの参加者：104名（16区14市） ※申込者114名
- (2) 東京都自立支援協議会委員：18名（2名欠席）
- (3) 事務局、連絡調整会議委員等：17名

5 内 容

障害当事者からみた地域移行・地域生活支援の課題を共有する

- (1) 話題提起・トークセッション（東京都自立支援協議会）
- (2) グループ討議
他地域の自立支援協議会関係者とグループを作り、意見交換（14グループ）
今年度は、14グループのうち障害当事者グループ3、家族グループ1を編成
- (3) 全体会
討議結果の内容をまとめ、今後の取組についてグループごとに全体会で発表

6 アンケート 86名 ※「非常に参考になった」が5割超（昨年度は4割台）

(1) 話題提起

評価	非常に参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった	無回答	合計
人数 (%)	48 (55.8%)	35 (40.7%)	3 (3.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	86 (100%)

(2) グループ討議

評価	非常に参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	参考にならなかった	無回答	合計
人数 (%)	51 (59.3%)	32 (37.2%)	1 (1.2%)	2 (2.3%)	0 (0.0%)	86 (100%)

(主な意見)

- ・東京都にも自立支援協議会があり、こういう企画が毎年なされていることを初めて知りました。他地域の状態がわかり、非常に勉強になりました。
- ・プログラム全体の構成がとても良かったと思います。グループ討議でも委員の方がファシリテーター＆書記を担ってくださったことで、進行もスムーズで活発なディスカッションが行われました。
- ・円滑な運営が素晴らしかった。障害者の方の配慮もしっかりされていた。
- ・Orihimeパイロットマサさんと同じグループで楽しかった
- ・障がい当事者の方々がたくさん参加されていて、心強く思えた。分かり合えることと、そうでないちぐはぐなことも、様々な人がいて、多様な人の社会にしていくのに必要であると思った
- ・当事者グループがあるのが良かった。協議会のイメージをもっと軟らかくすべき。
- ・グループを「当事者」「家族」「委員・事務局」と分けたことは良かった。話しやすい方法だと思った。
- ・年に一度ですし、思い切って1日にしてしまうのは難しいでしょうか？
- ・知的当事者の方の参画の工夫についてのお話、とても参考になりました。

地域自立支援協議会担当者連絡会の開催報告

令和6年度は、東京都自立支援協議会事務局から、時宜にかなう話題提供を行い、地域の協議会担当者同士で協議会の先進的な取組み、円滑な運営方法や活性化するための方策等を情報共有できる機会を設けることで、地域自立支援協議会の活性化を促進することを目的として、年2回開催した。

1 第1回自立支援協議会担当者連絡会について

(1) 日時

令和6年7月9日（火曜日） 午後1時30分から午後3時まで

(2) 実施方法

WEB会議システム「Microsoft Teams」を用いて実施

(3) 参加者

63名（12区14市2町1村）

※東京都自立支援協議会委員8名が傍聴

（岩本会長、曾根副会長、荒木委員、神作委員、北川委員、小阪委員、宮崎委員、龍委員）

(4) 主な内容とアンケート結果

報告・取組発表の内容、提案委員	アンケート結果			
	た考非 に常 な に 参	つ参 た考 に な	な考あ かにな ったら 参	たら参 な考 かにな
報告1【東京都】 令和5年度版東京都内の自立支援協議会の動向について	3	14	0	0
報告2【三宅村】 三宅村自立支援協議会の設立までの経緯と現在の活動状況	2	13	2	0
取組発表1【板橋区】（神作委員提案） 高次脳機能障害部会の設立経緯と現状	3	13	1	0
取組発表2【品川区】（曾根副会長提案） 施設入所者への地域移行調査の取組	9	7	1	0
取組発表3【西東京市】（根間委員提案） 緊急時の受入・対応の機能としての居室の確保	7	9	1	0
取組発表4【文京区】（宮崎委員提案） 障害当事者部会の活動等について	6	11	0	0

○今後活用できそうな取組について（自由意見）

- ・障害当事者部会の活動については、当市でも、当事者部会の活動内容や親会・他の専門部会との関係についての整理が難しく、課題となっているため、大変参考になりました。
- ・施設入所者の地域移行、緊急時の受入・対応についてはまさに当区も大きな課題としていたところだったので、とてもタイムリーな話題でした。また、当事者部会についてもいずれ立ち上げたいと思っていたので、どのような形で活動をしていけばよいか、とても参考になりました。
- ・各自治体のご説明がコンパクトかつ分かりやすくまとめられており有意義な時間でした。
- ・他区市町村様の事例発表、大変参考になりました。今後も他自治体の状況、事例等をお聞かせいただければ幸いです。
- ・地域生活支援拠点の整備、地域移行支援の推進について進めていきたいと思っているため、特に西東京市、品川区の取組発表についてとても参考になりました。また、他の自治体の協議会専門部会がいくつあって、どのような活動をしているかを知ることができて良かったです。

2 第2回自立支援協議会担当者連絡会について

(1) 日 時

令和6年10月7日（月曜日） 午後1時30分から午後3時まで

(2) 実施方法

WEB会議システム「Microsoft Teams」を用いて実施

(3) 参加者

48名（15区14市）

※東京都自立支援協議会委員10名が傍聴

（森山副会長、荒木委員、神作委員、北川委員、小阪委員、後藤委員、仲田委員、根間委員、宮崎委員、龍委員）

(4) 主な内容とアンケート結果

報告・取組発表の内容、提案委員	アンケート結果			
	た 考 非 に 常 な になっ っ 参	っ 参 た 考 に 考 な にな な にな	な 考 あ か にな っ 参 た ら	た ら 参 な 考 か にな っ な
報告1【東京都福祉局】（森山副会長提案） 障害者支援施設における地域移行支援について	6	10	0	0
報告2【東京都心身障害者福祉センター】 地域自立支援協議会交流会の活動報告について	5	11	0	0
取組発表1【江東区】（神作委員提案） 経験の浅い若手支援者の孤立化を防止する取り組み	4	11	1	0
取組発表2【東村山市】（中山委員提案） 就職相談会の開催による障害福祉人材の確保と障害福祉の 魅力発信	5	10	1	0
意見交換 地域自立支援協議会交流会で持ち帰ったものを どのように活用しているのか	アンケート対象外、11自治体から発言			

○今後活用できそうな取組・その他感想（自由意見）

- ・報告1の地域移行支援の話は大変勉強になりました。地域移行者の自己実現のためという理由が新鮮であったし、自身の東京都障害者計画の不勉強さを痛感しました。
- ・福祉人材の確保が課題となっている中、退職後に事業所間で異動できるような取組みに関心を持ちました。
- ・大学祭などでの障がい者職場アピールなどではできかなと感じました。
- ・情報共有ですぐに活かせるもの、そうでなくても検討できるもの等、アイデアを拾える機会ですとても良かったと思う。また交流会の意見交換についても、交流会で得た情報の活かし方も参考になったように思う。
- ・先日の地域自立支援協議会交流会には参加できませんでしたが、今回報告を伺うことで、それぞれの自治体に共通する課題や独自のあり方などを知ることができ、参考になりました。

東京都自立支援協議会セミナーの開催報告

1 目的

障害者総合支援法等における相談支援体制等、東京における共通課題や取組、協議会活動の活性化策などについて、東京都自立支援協議会本会議での検討等を踏まえた講演及びパネルディスカッションを実施することにより、広く関係者へ情報発信を行い、自立支援協議会活動の普及啓発を図る。

2 実施方法

(1) 会場参加

日時：令和6年12月9日（月曜日）13時20分～16時10分

場所：東京都庁第一本庁舎5階大会議場

(2) 動画視聴

配信期間：令和6年12月19日（木曜日）～令和7年1月9日（木曜日）

※当日の様子を撮影し、編集した動画を配信。昨年度から、字幕版に加え手話版も作成

3 参加者

(1) 会場参加 154名（受講者116名、聴講者38名）

(2) 動画視聴

312名（申込者数）

再生数は、開会あいさつ：251（17）、基調講演：249（10）、

パネルディスカッション：219（8）、メッセージ：146（7）

※（ ）内の数字は、手話版の再生数を内数で示したもの

4 アンケート結果（会場参加のみ）

セミナーについて

<基調講演>

	大変参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった
会場	47(42.7%)	56(50.9%)	7(6.4%)	0(0.0%)	0(0.0%)
動画	20(50.0%)	20(50.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)

（自由意見・会場）

- ・事例を基にした話で、大変わかりやすく、また、課題についても認識が深まった。
- ・実際の現場に根差した生の声を聴くことができ、とても参考になった。
- ・現場の悩みがよく伝わってきた
- ・自分の知らない支援の視点が学べた。
- ・地域移行の大変さがよくわかった。
- ・具体的な事例をとおして地域移行の働きを知ることができ、理解が深まった

（自由意見・動画視聴）

- ・事例を通じて、自分が日頃あきらめていること、課題であると気づいていないことも含めさまざまな課題をお話いただき、こんなにたくさんの課題があるのだと気づいた。漫然と支援するのではなく、ひとつひとつの課題を集めて行こうと思う。
- ・直接支援に携わっていないため、当事者や支援者の声を聴くチャンスが少なく、勉強になった。
- ・当事者の自立への思いを引き出していくのに多くの時間がかかろうとも続けることが大事であることがわかった。
- ・「そのうち対応具体化」待ちではなく、「数年後の生活像が見える化」しての支援を具体化するとの見解に同感した。

<パネルディスカッション>

	大変参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった
会場	63 (57.3%)	43 (39.1%)	4 (3.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
動画	22 (55.0%)	16 (40.0%)	2 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

(自由意見・会場)

- ・実際の支援の報告、特に当事者の方からの報告は、説得力があった。
- ・当事者のお話は参考になった、また、本人の意思確認の重要性を改めて考える機会になった。
- ・やはりご本人たちの言葉は強い。支援者が何を言っても本人の声が一番尊重されるべきであり、それを痛感するのもまた、本人の声を聴くことからである。
- ・当事者の声は良かった。その意見をどうやって制度に反映させるかが大切だと思った。
- ・ご本人のリアルな暮らしぶりをきかせていただけて、とてもよかった。
- ・矢島さんの動画と笑顔がとてもよかった。地域移行の必要性を強く感じた。
- ・どの障害でも地域移行とそのあとの地域生活支援も大切なんだなと気づかされた。
- ・本人の想いを引き出し実現に向かう、基本を改めて考えさせられた。
- ・ピアサポーターの存在、サポートの重要性に気づかされた。

(自由意見・動画視聴)

- ・地域で「安心して」生活をする主体が誰なのかあらためて気づかされた。わかっているつもりでも、支援者の「安心」に忖度していることが多いのではないか、本人の希望する生活を支援しているのかを自分に問いかけていきたいと思った。
- ・当事者の思いが聞けたことが良かった。当事者の自立への意思決定までに時間が必要で、諦めずに様々な手立てを立てていったことに敬意を持った。
- ・楽しい生活のためには趣味を持つことが重要であることを改めて感じた。

<メッセージ>

	大変参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった
会場	36 (35.6%)	54 (53.5%)	10 (9.9%)	0 (0.0%)	1 (1.0%)
動画	16 (40.0%)	21 (52.5%)	3 (7.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

(自由意見・会場)

- ・当事者とともに、決めていくことに重きをおいていくことの大切さを再認識した。
- ・当事者の声をサービスに反映することは日ごろから取り組まなければならないと再認識した。
- ・当事者委員の方からの意見を出しやすい環境を作ることが必要だと感じた。
- ・当事者の参画は、進んだ発想と思った。
- ・当事者の思いや視点から考えるのが当たり前と改めて思った。
- ・当たり前のことが当たり前になる、そのために頑張らなくてはと思った。
- ・協議会が、当事者参画に向けて創意工夫していることをありがたく思っている。
- ・本人の力を引き出していくという話がよかった。また、サービスが不足しているという話だけで終わるのではなく、当事者の声を入れる大切さを知った。
- ・本人と家族だけでなく、友達や地域とのつながりについては、私も目からうろこだった。

(自由意見・動画視聴)

- ・当事者の声によって、会議のあり方を変える取り組みは素晴らしいと思った。東京都だけでなく、当事者が参画している地域自立支援協議会の好事例なども伺いたい。
- ・障害当事者と家族が参画することの重要性を改めて認識した。
- ・障害当事者から見える視点は、その人からしか見えない特別なものであるため、その視点を常に持つことが大切であることを感じた。

第8期東京都自立支援協議会について

<当事者の主体的な参画を推進するための働きかけを行ってきたこと>

	たいへん良い	良い	普通	あまり良くない	良くない
会場	71 (65.7%)	34 (31.5%)	3 (2.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
動画	27 (67.5%)	13 (32.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

<地域自立支援協議会活動の活性化に向けた働きかけを行ってきたこと>

	たいへん良い	良い	普通	あまり良くない	良くない
会場	64 (59.8%)	37 (34.6%)	6 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
動画	22 (55.0%)	16 (40.0%)	2 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

<地域移行・地域生活支援という具体的な地域課題に焦点を当てて取り組んでいること>

	たいへん良い	良い	普通	あまり良くない	良くない
会場	59 (54.6%)	45 (41.7%)	4 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
動画	27 (67.5%)	12 (30.0%)	1 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

<今後の活動に期待すること>

(自由意見・会場)

- ・今回初めて都自立支援協議会セミナーに参加させていただいた。今後の活動も興味をもっていきたいと思う。
- ・当事者の声を伝える活動を今後も継続してほしい。
- ・これからも当事者の力をどんどん活用していただきたい。
- ・共に参加させていただきたいと思う。
- ・当事者主体、地域課題に取り組んで何をどうやって改善できたか発信してほしい
- ・各自治体によって協議会の活発性が全く違うので、もっと頑張してほしい

(自由意見・動画視聴)

- ・地域づくりのために欠かせない地域住民（都民）に向けた障害理解の普及啓発（当事者による講演会等）、協議会の活動報告会の開催など、広く外に向けた活動を期待する。
- ・自立支援協議会のことを知らない方はまだ多いので、活動をどんどん発信して行ってほしいと思う。
- ・議論にあったように、当事者と支援者、更にはヘルパーさんや医療関係者、行政などと、知らない、見えていない近隣住民のかかわり方について、もっと発信できないだろうか。
- ・地域移行・地域生活支援という具体的な地域課題に焦点を当てていることは重要なことと思う。もっと具体的に今足りないものは何かに焦点を当てると、今後の第一歩につながると感じる。

東京都内の自立支援協議会の動向（動向集）の報告

1 目的

東京都自立支援協議会の活動の一環として、各区市町村における地域自立支援協議会の活動状況等を把握し、調査結果を資料として供することで、各地域協議会の活動の促進を図るとともに、東京都自立支援協議会の活動とあわせて、都民に広く周知する。

2 方針

- (1) 継続して行っている設問項目については、同様のかたちで引き続き行っていくが、都協議会や交流会等での討議結果を参考にしながら作成している設問については、グループ討議により、今年度の活動方針に沿った設問を設ける。
- (2) 当事者参画を問う設問と協議会活性化を問う設問について、ブラッシュアップを進める。
- (3) 担当者連絡会や交流会、セミナーなどで取り上げた「地域自立支援協議会における先進事例」や「障害当事者の発表要旨」をコラムとして掲載する。
- (4) 会長による第8期の総括を掲載する。

3 内容

- (1) 地域自立支援協議会の基本情報（名称、設置年月、運営方法、組織図）
- (2) 地域自立支援協議会の委員（名簿、専門部会の状況、委員構成、当事者委員の参画状況）
- (3) 地域自立支援協議会の活動状況等
 - ア 地域自立支援協議会での協議事項
 - イ 地域自立支援協議会としての役割
 - ウ 地域自立支援協議会として把握している地域課題
- (4) 相談支援体制の整備状況等（基幹相談支援センター等の所数・機能、地域生活支援拠点等の整備状況・コーディネーターの配置、日中サービス支援型共同生活援助）
- (5) 地域自立支援協議会の活性化
- (6) 地域移行・地域生活支援の取組（新規）
- (7) コラム（4本程度を予定）
- (8) 第8期の総括

4 調査対象

都内全区市町村

5 基準日

令和7年3月31日

6 結果の公表

- (1) 冊子の発行
区市町村障害福祉主管課、都協議会関係者、各道府県政令市障害福祉主管課等に配布
- (2) 東京都心身障害者福祉センターホームページへの掲載
・冊子の掲載内容と同内容のものをホームページにも掲載する。
・各地域自立支援協議会のホームページリンクを一覧にして掲載する。
- (3) 発行時期（掲載時期）
令和7年6月（予定）

7 その他

都内全区市町村を対象とした調査票については、資料『令和6年度版 東京都内の自立支援協議会の動向』調査票』を参照のこと。

2 点目の「協議会間の情報共有と相互作用」についても以前から本協議会が意図的に取り組んできたことである。障害のある人々が暮らしやすい地域づくりには地域の協議会が十分に機能することが求められ、そのために地域の協議会のエンパワメントは不可欠である。本協議会はそれを支える役割を担っていると認識し、交流会と動向集を通した協議会間の相互作用に努めてきたが、交流の機会があまりに少ないことや一方的な情報発信に止まっていることが課題であった。第 8 期では新たに年 2 回の担当者連絡会をオンラインで開催し、地域課題の共有及び各自治体の先駆的取組みの発信と交流の機会を設けた。参加者からは「それぞれの自治体で共通する課題や独自の課題に気づいた」「他の自治体の取組みが参考になった」などの意見が寄せられ、自分たちの協議会の現状を客観視し具体的な取組み課題の設定に繋げている様子が見受けられた。この担当者連絡会の開催により、第 8 期における「協議会間の情報共有と相互作用」はより手ごたえのあるものに前進したと思う。今後も担当者連絡会の継続は必要だと思うし、さらに工夫を重ねて多様な情報発信や交流の機会に発展させていただきたいと思っている。

3 点目の「地域課題への取組み」であるが、第 8 期においても「東京都の協議会が取り組むべき地域課題は何か？」の模索が続いたように思う。第 7 期以降「地域移行・地域生活支援の実際と課題」をセミナーのテーマに講演・シンポジウムを開催してきたが、テーマが大きすぎて具体的な課題が見えてこないという指摘も受けてきた。また、本協議会が具体的な地域課題に取り組む体制にはなっておらず、本協議会の設置要綱にある協議事項とのズレも繰り返し指摘されてきた。第 8 期ではこれらについて十分な検討ができず、次期への持ち越しとなってしまったが、本会議等でのコメントからいくつか今後の方向性に繋がる見解を挙げてみたい。まずセミナーのテーマについては、包括的な地域課題を設定しつつも関係する東京都の実態をデータ等で示し、それを参加者に共有していただくことで、具体的な地域課題に迫ることができると考えられる。ぜひ第 9 期では試行していただきたい。また、本協議会としての「地域課題への取組み」は、先述した「協議会間の情報共有と相互作用」を促進し、都内の各協議会の活性化を支援することで間接的な「地域課題への取組み」を意図してきたが、改めてその是非を問うことも必要であろう。そして、設置要綱と実態とのズレであるが、設置要綱の妥当性も含めて広く検討が必要ではないかと考えている。設置要綱にある協議事項は広範囲で一つの協議会の機能で網羅できるとは考えにくい。一方、東京都には同様の課題について協議・検討しているさまざまな会議体があると思う。東京都の他の会議体や活動を踏まえ、本協議会が担うべき役割は何かを整理し、その課題に集中して取り組むことが現実的ではないかと考えている。本協議会で完結しようとせず、さまざまな会議体や活動と緩やかにつながり、それぞれの役割を果たすことで東京都の障害者福祉の向上を目指すビジョンが必要ではないかと思っている。

最後になるが、3 名の副会長をはじめ貴重なご意見と新たな発見をもたらしてくださった委員の皆様、さまざまな工夫と配慮をもって協議会運営を進めてくださった事務局の皆様、心から感謝を申し上げます。そして、交流会、セミナー、担当者連絡会にご登壇いただいた皆様、動向集の調査にご協力いただいた皆様にも改めて御礼申し上げます。多くの皆様の力によって本協議会の活動は成り立っている。それぞれの力がさらに発揮されて新たな協議会活動が進むことを願っている。